



地域資源循環型農業で 高品質ブランド確立へ

長崎県壱岐市 | JA壱岐市アスパラガス部会 ➡ 副部会長 このみともひとさん(69)

部会全員が「エコファーマー」

福岡・博多港から北西に約70キロに位置する長崎県壱岐市は、温暖な気候と豊富な地下水を利用し、畜産や水稻、メロン栽培が盛んだ。なかでもアスパラガス生産はJA、県が重要品目と位置づけ営農指導を続けた結果、現在では関東や関西市場で評価されている。また、県内で5年連続単収1位を記録するなど主要作物になっている。

JA壱岐市アスパラガス部会は、会員、作付面積ともに年々増え続け、現在の部会員は88名で14.2ha作付けしている。

アスパラガス栽培で一番重要なのが定植前の土づくり。一般的にたい肥は10t~あたり10t+与えてれば十分とされているところ、同部会では5倍の50t+を施用する。水稻から稻わらを自給し家畜の餌にし、その排せつ物をたい肥にするなど、島内資源を循環させる地域資源循環型農業を実践し

ている。こうした取り組みにより部会員はたい肥を格安で購入でき、大量に施用することで根張りが良くなり収量が上がるほか、安全・安心で食味の良いアスパラガス生産を実現した。また、黄色蛍光灯や紫外線カットフィルムの導入によって、ヨトウムシ類、アザミウマ類などの害虫被害を減らし、農薬使用量削減にも成功。生産団体として全国初のエコファーマー認定を受けた。今年平成24年には、JA全中、NHKが主催する「第41回日本農業賞(集団組織の部)」で大賞を受賞した。

所得向上で地域活性化

JA壱岐市アスパラガス部会の副部会長許斐誠仁さんは、水稻100haとアスパラガス48haを妻の市子さん、パート2名、研修生1名で経営している。許斐さんは毎年、JAなどから研修生を引き受けている。近年管内ではアスパラガス生産で所得が向上。Uターン

などで島に戻ってくる若者が多い。許斐さんは「若い人が育つ土壤を作るには所得につながる経営が必要」と話す。先駆的な栽培方法を検証し確立してきた許斐さんは、独自の栽培方法を隠すことなく開示している。「自分一人だけいいものを作ってもダメ。产地全体が評価されないと意味がない」と積極的な手を歓迎する。

販売では外食業者などの実需者への直販にも力を入れている。品質の良さを耳にした関東や関西のレストラン、ホテルから直接申し込みがあり、現在で約70店ほどの実需者と取引中だ。「私のアスパラガスは甘みが強いところが評価されているのではないか」と言い、単価も市場価格の倍ほどで取引されているそうだ。

安定経営に価格差補給金

同部会は2月~10月までの長期出荷を行っている。アスパラガスの価格は、需要と

地域資源を活かした生産方法で5年連続県内単収1位を維持するなど、特産化に成功した長崎県壱岐産の「アスパラガス」。島特有の生産方法で、安全・安心で食味の良いアスパラガスを作り上げ、さらなる品質向上を目指すJA壱岐市アスパラガス部会、副部会長の許斐誠仁(69)さんに今後の目標を語ってもらった。

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業って?

農産物価格は豊作・不作、天候や輸入量などで変動するため、生産者は不安を感じます。

同事業は価格急落などで野菜農家の経営に及ぼす影響を緩和し、次期作の確保と消費者への野菜の安定的な供給を図る事業です。特定野菜(35品目)*注と呼ばれる野菜を生産・販売する際の価格下落リスクを低減するため、一種の保険として生産者(出荷団体等)のほか、国や都道府県が掛け金を積み立て、価格が一定の基準を下回った場合に補給金が交付されるもの。許斐さんは「この制度が夏場の価格下落時の経営を支えてくれる。掛け捨てでない所もいい。手続きの手間もからない」と話す。今後は完全無農薬栽培に挑戦し、「6次産業化にも積極的に取り組んでいきたい」と語った。

どれくらい補償してくれるの?

対象野菜の平均販売価額

が保証基準額を下回った場合に、その差額の80%が交付されます。

どこに出荷しても大丈夫ですか?

知事が選定した産地において生産された特定野菜等で、出荷団体又は相当規模生産者が卸売市場に出荷したもののが対象です。

どれくらい負担が必要ですか?

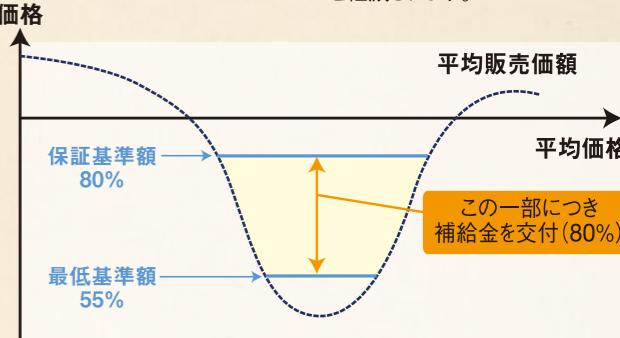
生産者(出荷団体等)が1/3、国と都道府県がそれぞれ1/3を負担し、資金を積み立てます。

掛け捨て制度ではないので使用しなければ翌年から負担が減ります。

なお、「重要特定野菜」は生産者負担及び都道府県負担が1/4と軽減されます。



「どれだけほ場に足跡を残したかが大事」と語る許斐さん



お問い合わせ先 野菜需給部、助成業務課 TEL 03-3583-9797

*注 特定野菜(35品目)*太字下線は「重要特定野菜」(3品目)

アスパラガス、いちご、えだまめ、かぶ、**かぼちゃ**、カリフラワー、かんしょ、グリーンピース、ごぼう、こまつな、さやいんげん、さやえんどう、しゅんぎく、しょうが、すいか、スイートコーン、セルリー、そらめ、ちんげんさい、生しいたけ、にら、にんにく、ふき、ブロッcoli、みずな、みつば、メロン、やまとひも、れんこん、しおとうがらし、わけぎ、らっきょう、にがうり、オクラ、みょうが

日本の食をつくり、たべる、すべてのひとのために

alic 独立行政法人
農畜産業振興機構

ホームページ
<http://www.alic.go.jp>

独立行政法人農畜産業振興機構は、国産農畜産物の安定的な供給を図るために、生産者の経営安定対策を中心に、需給調整、価格安定対策、緊急対策、情報収集・提供に関する業務を実施しています。